

# 工場・事業場立入調査票

## 記入例

(令和7年7月1日作成)

事業所名	****会社 湖東工場		
所在地	彦根市田町4-1		
事業所の代表者	役職：****	氏名：****	
業種	***製品製造業 (※日本標準産業分類一覧 中分類)		
資本金	***千円		
常用雇用者数	全従業員 **名	操業時間	定時操業 8:30 ~ 17:15 (交替勤務： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 )
	うちパート **名		
	うち役員 **名		
環境管理担当部課	環境保全課	担当者名	**** Tel. ** - **** Fax. ** - ****

日本標準産業分類の中分類のうち該当するもの

### 操業状況

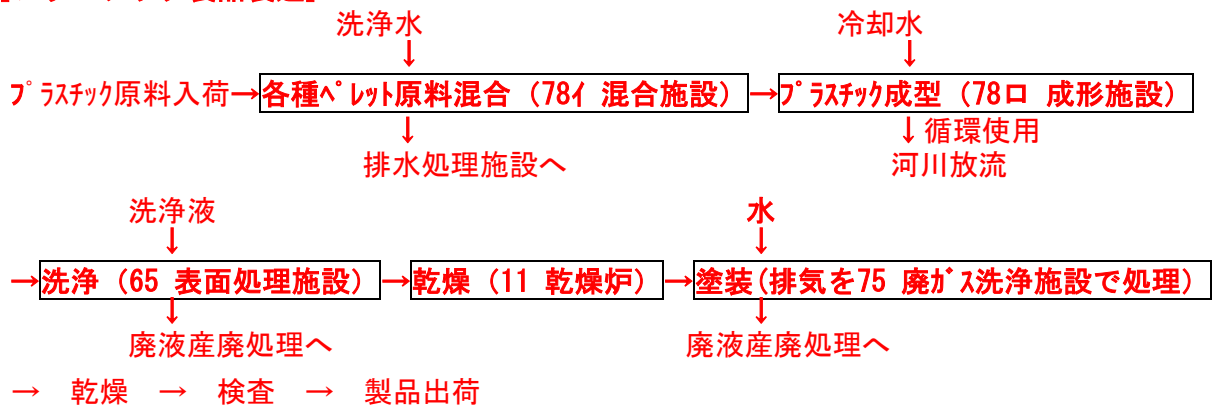
- ・ 季節変動：  ・ 無  
「有」の場合、変動状況： 年度末に業務が集中する。
- ・ 時間変動：  ・ 無  
「有」の場合、変動状況： 午後4時から洗浄排水が増加する。

生産品目 または 取扱品	品目	生産量/年	使用 原材 料等	原材料・資材・補材	使用量/年
	△△△△	** t		△△△△	** t
××××	** t	××××	** t		
○○○○	** m <sup>3</sup>	○○○○	** m <sup>3</sup>		
◇◇◇◇	** 百万円	◇◇◇◇	** 百万円		

※ 生産量 個数や重量などで、生産量等の実績がわかるように記入してください

○ 生産工程図(フローシート) ※ 別紙 添付可

### [プラスチック製品製造]



注1) 汚水・廃液、排ガス等が排出する工程・施設であることが、わかるように記載してください。

注2) ばい煙発生施設 (VOC、粉じん含む) および水質、騒音・振動、ダイオキシンに関する特定施設に該当するものは **太枠** で囲んでください。

## 水質関係

○ 特定施設の有無  有・無 (有の場合、以下に記載してください。)

特定施設項番号 ※		種類	設置 基数	使用する水質有害物質
水濁法	県条例			
65		酸またはアルカリによる表面処理施設	2基	ふっ素 (No.1)、硝酸 (No.2)
75		廃ガス洗浄施設	3基	なし
	78イ	混合施設	2基	なし
	78ロ	成形施設	2基	なし

※ 水質汚濁防止法 施行  
特定施設の項番号を記載してください。

水質有害物質は、別紙1「水質汚濁防止・土壌汚染防止有害物質の使用状況チェックシート」のうち1番～28番の物質を記載し、括弧書き内は届出に記載の貴社内において設定した施設名(施設番号)を記載してください

○ 有害物質貯蔵指定施設の有無  有・無 (有の場合、以下に記載してください。)

有害物質貯蔵 指定施設名	設置場所	貯蔵する 水質有害物質	貯蔵量 (t, KL)	漏洩防止対策
廃液タンク1	第一工場北(屋外)	硝酸	10KL	防液堤(10m <sup>3</sup> )
廃液タンク2	第二工場南(屋外)	硝酸	30KL	防液堤(50m <sup>3</sup> )

○ 有害物質等の使用状況

- 有害物有の使用 → 別紙1「水質汚濁防止・土壌汚染防止有害物質の使用状況チェックシート」に記載してください。
- 油類や指定物質の使用 → 別紙2「水質汚濁防止法『事故時の措置』が必要な物質の使用状況チェックシート」に記載してください。

○ 有害物質使用特定施設等の構造等基準適合状況等 (別紙 添付可)

※ 「有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造等に関する基準および対応する定期点検項目確認表」別紙3を参考に記載してください。

施設名(種類)	No. 1、2 洗浄槽(65 酸又はアルカリによる表面処理施設)
構造基準	( <input checked="" type="checkbox"/> A基準・ B基準 )に適合
定期点検	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (点検頻度: 2回/年)
管理要領	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
施設名(種類)	廃液タンク1、2
構造基準	( <input checked="" type="checkbox"/> A基準・ B基準 )に適合
定期点検	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無 (点検頻度: 2回/年)
管理要領	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無

※ 定期点検記録簿と管理要領の代表的なものについて、「写し」を提出してください。

○ 用排水量 (m<sup>3</sup>/日) ※マスバランスシート(用水の使用施設・量の系統図)を添付してください。

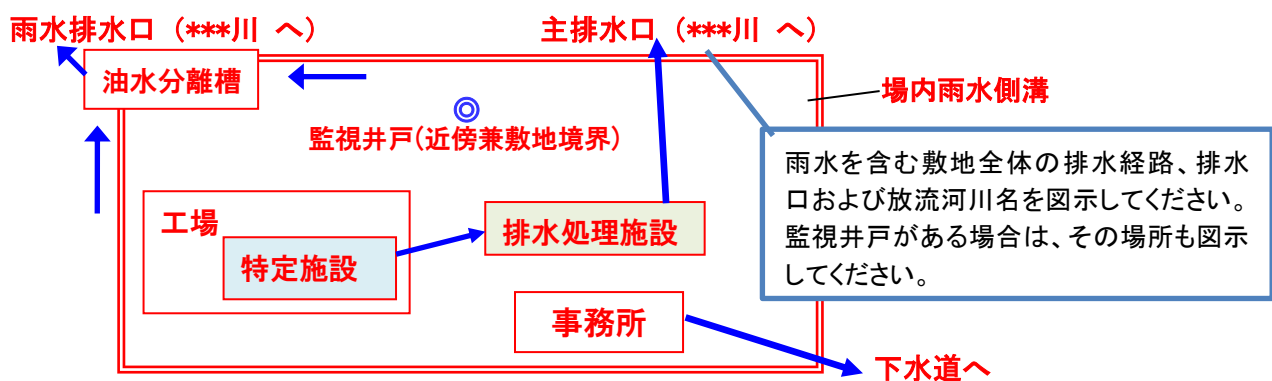
用水量 (m <sup>3</sup> /日)		排水量 (m <sup>3</sup> /日)			
種類	量	種類	公共用水域	下水道投入	その他※
上水道	70	特定施設排水	20	-	15
工業用水	-	その他の工程排水	10	-	5
地下水	30	生活排水(し尿、食堂等)	-	20	-
		冷却水	25	-	5
用水量計	100	排水量計	55	20	25

※「その他」は蒸発や事業所外移動(製品混入、廃棄物等)等の値を入力してください。

○ 排水の処理方法 ※ 別紙 添付可

- ◆工程系 ⇒ 濃厚廃液は、産業廃棄物として、委託処分
  - ・ 工程系排水→曝気槽→沈殿槽→反応槽→凝集沈殿槽→滅菌槽→河川放流
  - ・ 間接冷却排水→油水分離槽→河川放流
- ◆生活系
  - ・ 生活排水→公共下水道
- ◆雨水
  - ・ 雨水排水→場内側溝→油水分離槽→河川放流

○ 排水経路図 ※別紙 添付可 放流河川名 : \*\*\*川

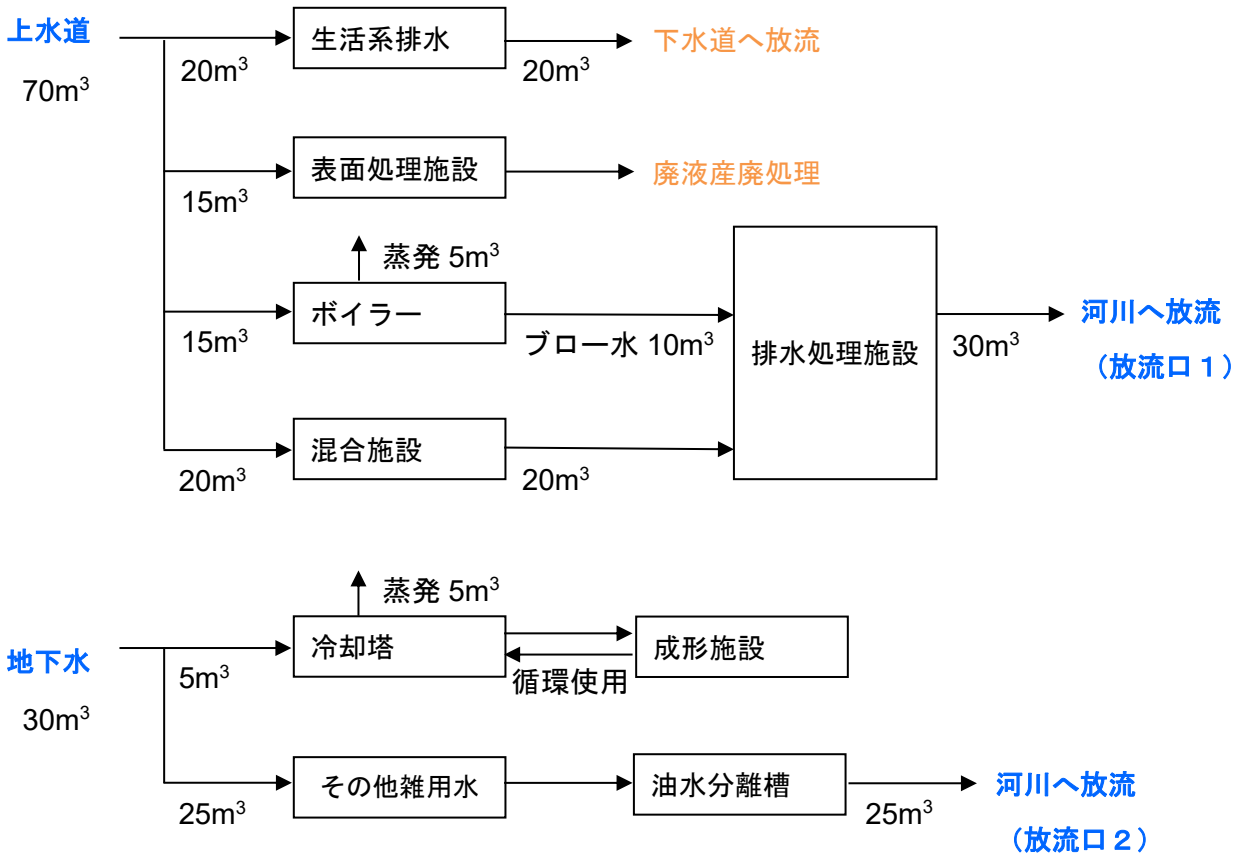


○ 公共用水域(河川等)への排水の自主検査 ※ 別紙 添付可

- ・ 排水自主検査の有無 : 有 (測定頻度: 2回/年) ・ 無
- ・ 排水自主検査の測定項目 : pH, BOD, COD, SS, T-N, T-P, 大腸菌数, ふっ素, 硝酸化合物
- ※ 最近の排水自主検査結果の写しを添付してください。
- ・ 排水自主検査の測定場所 :
- ・ 排水基準への適否 : 適合、不適合 (不適合項目: )

## マスバランスシート (例)

『用水量』と『排水量+蒸発量+事業所外に移動する量(製品混入、廃棄物等)』とは、同値となることから、記入漏れや量の過不足がないようにしてください。



## 土壌・地下水関係

○ 有害物質使用特定施設・有害物質貯蔵指定施設の有無  
 :  (有害物質名: **ふっ素化合物、硝酸**) ・  無

・ 監視井戸の有無 :  ・  無

・ 公害防止条例第 29 条の 5 に基づく地下水自主検査の有無 :  ・  無  
 (有の場合)  
 地下水自主検査の測定項目 : ふっ素  
 測定頻度 : **2** 回/年  
 地下水環境基準への適否 :  適合、 不適合 (不適合項目: )

※ 地下水測定場所の図面および最近の地下水調査結果(計量証明書等)の写しを添付

・ 地下水の浄化の有無 :  有 (浄化の方法: ) ・  無

○ ただし書の確認申請の有無

・ 土壌汚染対策法第3条第1項 :  (有害物質名 : **六価クロム**) ・  無

・ 滋賀県公害防止条例第 49 条第 1 項 :  有 (有害物質名 : ) ・  無

○ 指定有害物質使用地 :  該当 (有害物質名 : ) ・  非該当

## 大気関係

○ ばい煙発生施設の有無 :  ・  無 (有の場合、以下に記載してください。)

施設番号 ※		種類	設置 基数	規模 ※	燃料の種類
大防法	県条例				
1		ボイラー	4 基	燃焼能力 98L/h	A 重油
11		乾燥炉	3 基	燃焼能力 60L/h (重油換算)	L P G
30		ディーゼル機関 (非常用)	1 基	燃焼能力 78L/h	軽油

※ 大気汚染防止法施行令別表第1または滋賀県公害防止条例施行規則別表第2に掲げるばい煙発生施設番号、および届出した規模を記載してください。

○ 揮発性有機化合物排出施設の有無 :  ・  無 (有の場合、以下に記載してください。)

施設番号 ※	種類	設置 基数	規模 ※
1	乾燥施設	1 基	送風能力 6,000 m <sup>3</sup> /h
2	塗装施設(吹付)	1 基	排風能力 150,000 m <sup>3</sup> /h

※ 大気汚染防止法施行令別表第1の2に掲げる揮発性有機化合物排出施設番号、および届出した規模を記載してください。

○ 粉じん発生施設(一般・特定)の有無：有・無 (有の場合、以下に記載してください。)

施設番号 ※	種類	設置基数	規模 ※
3	ベルトコンベア	3基	ベルト幅 75cm
4	破碎機	3基	原動機定格出力 150kW

※ 大気汚染防止法施行令別表第2(一般粉じん発生施設)または別表第2の2(特定粉じん発生施設)に掲げる番号、および届出した規模を記載してください。

○ ダイオキシン類特定施設(大気・水質)の有無：有・無 (有の場合、以下に記載してください。)

特定施設番号※	種類	設置基数	規模 ※
4	アルミニウム合金の溶解炉	1基	容量 5 t

※ ダイオキシン類対策特別措置法施行令別表第1、2に掲げる番号、および届出した規模を記載してください。

○ 排ガスの処理方法

- ・ボイラー (No. 1～No. 4) → 集合煙突 1
- ・乾燥炉 (No. 1～No. 3) → 集合煙突 2
- ・ディーゼル機関 → 煙突 3

施設ごとに処理方法を記入してください。

○ 排ガスの自主検査 ※ 別紙 添付可

- ・排ガス自主検査の有無：有 (測定頻度： 2回/年) ・無
- ・排ガス自主検査の測定項目：ばいじん、SOx、NOx、VOC

※ 最近の排ガス自主検査結果の写しを添付してください。

- ・排ガス規制基準への適否：適合、不適合 (不適合項目： )

## 化学物質・フロン関係

○ PRTR 法対象物質の使用の有無：有・無 (有の場合、以下に記載してください。)

対象物質 ※	使用量 (t/年)	使用用途	貯蔵方法	漏洩防止対策
キシレン	0.5 t/年	塗料中成分	18L 缶、塗料倉庫	SUS 製受皿の設置
トルエン	0.8 t/年	塗料中成分	18L 缶、塗料倉庫	SUS 製受皿の設置
メチルケタレン	2.4 t/年	A重油成分	50KL 地上タンク	防油堤

※ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR 法)施行令別表第1に掲げる第一種指定化学物質を記載してください。

- ・第一種指定化学物質の排出量及び移動量の届出書の提出：有・無 (提出日：令和7年5月31日)

○ 液体物質(油類・液体原材料・排水処理薬品・廃液等)の貯蔵方法および漏洩防止対策  
 ※ 固体・気体は除く。貯蔵量は平時の値を記載してください。

物質	貯蔵量 (t ,KL)	貯蔵方法(タンク容量)	漏洩防止対策
A重油	50KL	100KL 地上タンク	防油堤
アンモニア	10KL	10KL 地上タンク	防油堤
塩酸	30KL	100KL 地上タンク	防油堤

○ 第一種特定製品(業務用空調、冷蔵・冷凍機器)の保有状況  
 ※ フロン排出抑制法の対象機器であり、家電製品(冷蔵庫・冷凍庫・エアコン)を除く。

原動機の出力	7.5kW 未満	7.5kW 以上 50kW 未満	50kW 以上
空調機器	3基	1基	0基
冷蔵・冷凍機器	2基	0基	

※ 「空調機器」とは、室内を冷暖房する機器類(スポットクーラ含む)であり、「冷蔵・冷凍機器」とは、空調機器以外のフロンを使用する冷蔵・冷凍機器で、コンプレッサ付属のエアドライヤー、NC工作機の制御用冷却機器等も「第一種特定製品」に該当する。

○ 点検および整備に係る記録の保存の有無 :  有 ・ 無  
 ※ 第一種特定製品の点検・整備結果等を記載した点検記録簿の代表的なものの写しを提出してください。なお、簡易点検項目がわかる資料も提出してください。

○ フロン類の漏えいの有無 : 有 (漏えい量 :      kg/年) ・  無

事業場で保有している液体物質について記入してください。この項目は、PTRR 法の対象物質かどうかに関係なく記入してください。

### 滋賀県 CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

○ 事業者行動計画書(滋賀県 CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第 43 条第 2 項)の提出の有無 :  有 (提出日 : 令和 7 年 5 月 31 日) ・ 無

- 前年度に使用した主要なエネルギーの実績を記載してください。  
 電気 : 3000 [千 kWh]、都市ガス : 800 [千 m<sup>3</sup>]、液化石油ガス : \_\_\_\_ [t]  
 重油 : 1000 [kL]、灯油 : \_\_\_\_ [kL]、その他( ) : \_\_\_\_ [ ]
- 原油換算エネルギー使用量 原油換算 : 2709 [kL]  
 ※ 原油換算が、1,500kLに相当する各エネルギーの使用量(目安)  
 ⇒ 電気:約5,800千kWh、都市ガス:約1,300千m<sup>3</sup>、灯油:約1,600kL、A重油:約1,500kL

○ CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの取り組み ※別紙 添付可

- 事業所におけるエネルギー削減、CO<sub>2</sub> 削減の取り組み状況  
 ※ 別紙4 「エネルギー削減、CO<sub>2</sub> 削減の取り組み状況チェックシート」に記載してください。

○ アイドリングストップに係る措置(滋賀県 CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第 43 条第 2 項)

- 500m<sup>2</sup>以上の駐車場(概ね 40 区画以上)の有無 :  有 ・ 無
- アイドリングストップに係る措置の内容 : 啓発用看板の設置等

簡易点検記録簿の点検項目「熱交換器への霜の付着の有無」が抜けていないか注意してください。

## 騒音・振動・悪臭関係

○ 騒音特定施設の有無：有・無（騒音規制区域：第1種、第2種、第3種、第4種）

特定施設番号※	種類	設置基数	規模※
2	空気圧縮機	5基	7.5kw
9	印刷機	1基	150kw
10	合成樹脂用射出成形機	2基	70kw

※ 騒音規制法施行令別表第1に掲げる番号および規模を記載してください。

○ 振動特定施設の有無：有・無（振動規制区域：第1種、第2種-I、第2種-II）

特定施設番号※	種類	設置基数	規模※
2	圧縮機	5基	7.5kw
7	印刷機	1基	150kw
9	合成樹脂用射出成形機	2基	70kw

※ 振動規制法施行令別表第1に掲げる番号および規模を記載してください。

○ 特定悪臭物質使用の有無：有・無  
 ※ 別紙5「悪臭防止法特定悪臭物質チェックシート」に記載してください。

○ 適用される悪臭規制の種類：特定悪臭物質の濃度（豊郷町）、臭気指数（豊郷町以外）

- ・ 特定悪臭物質の濃度基準：一般区域、順応区域、区域外
- ・ 臭気指数の規制基準：第1種区域、第2種区域、第3種区域、区域外

○ 騒音・振動・悪臭苦情の有無：有・無  
 （有の場合）内容：**近隣住民から騒音苦情があり、防音壁を民家側に設置した。**  
**アンモニア臭の苦情申立てがあり、現在保管庫を建設中。**  
 対応期間：**令和2年4月**～（終了継続中）

※ 自主検査結果がある場合、最近の騒音、振動、悪臭の自主検査結果の写しを添付してください。

## 廃棄物関係

### (事業系一般廃棄物)

廃棄物の種類 (廃棄物の名称)	発生量 (t/年)	処理の方法			処分先
		市町村の サービス利用	一般廃棄物 収集運搬業者	自社車で 搬入処分	
紙くず	3t			○	湖東広域衛生管 理組合

### (産業廃棄物)

廃棄物の種類 (廃棄物の名称)	発生工程	発生量 (t/年)
廃酸 ※特管:pH2	表面処理施設廃液	30t
廃油	廃作動油	100t
汚泥	排水処理施設汚泥	50t (脱水後)
廃プラスチック類 (梱包材)	梱包材、PPバンド等	20t
廃プラスチック類 (不良品)	製品 (不良品)	20t
木くず	廃パレット	10t
・産業廃棄物保管場所の法令に基づく掲示板(60cm 四方以上)の設置の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無		
・産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 (提出日 : 令和7年5月31日) ・ <input type="checkbox"/> 無 (電子マニフェスト利用) ・ 未提出		
・電子マニフェスト利用の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 (有の場合) 電子マニフェストの利用開始時期 : 令和元年4月 紙マニフェストとの利用率 : 約90%		
○ 届出規模未満の廃棄物焼却炉※の有無 : 有 ( 基 ) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※大気汚染防止法では焼却能力 200kg ダイオキシン類対策特別措置法では		
○ PCB廃棄物の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 (トランス・コンデンサー・安定器・その他) ・ <input type="checkbox"/> 無 PCB使用機器(使用中)の有無 : 有 (トランス・コンデンサー・安定器・その他) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
○ 特別管理産業廃棄物管理責任者の選任の要否 : <input checked="" type="checkbox"/> 要 (有資格者: ** ***) ・ <input type="checkbox"/> 否 特別管理産業廃棄物の種類 : 廃酸 (表面処理施設廃液)		
○ 多量産業廃棄物排出事業者による減量化計画の有無 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 (直近の提出日: 令和7年5月31日) ・ <input type="checkbox"/> 無 (産業廃棄物を年間 1,000t または特別管理産業廃棄物を年間 50t 以上排出する事業者) ※ 排水処理施設から発生する汚泥量は、脱水施設で処理する前とする。		

電子マニフェストを導入した事業者であっても、紙マニフェストを併用した場合、交付した紙マニフェスト分については報告書を提出する必要があります。

## 環境管理体制

○ 公害防止管理者等選任状況(選任の必要性)の有無 : **有** ・ 無

		必要な資格区分	統括者・管理者の氏名 (保有資格)	代理者の氏名 (保有資格)
公害防止統括者			<b>工場長 * * * *</b>	<b>副工場長 * * * *</b>
主任管理者				
公害防止管理者	水質	<b>第2種</b>	<b>* * * *</b> (第1種)	<b>* * * *</b> (第2種)
	大気	<b>第4種</b>	<b>* * * *</b> (第4種)	<b>* * * *</b> (第4種)
	粉じん			
	ダイオキシン			
	騒音			
	振動			

○ 環境事故の想定訓練・体制

- ・想定される環境事故の種類 : **重油の流出事故、酸廃液の流出事故**
- ・水害(洪水)ハザードマップの浸水想定区域  
: 区域外、0.1~0.5m未満、0.5~1.0m未満、**1.0~2.0m未満**、2.0~5.0m未満、5.0m以上  
※ 水害(洪水)ハザードマップの浸水想定区域は、滋賀県HP地先の安全度マップ  
(<https://shiga-bousai.jp/dmap/top/index>)、各市町のHPより確認してください。
- ・環境汚染事故等対応手順書等の作成の有無 : **有** ・ 無
- ・環境事故対応用資材の有無 : **有** ・ 無  
事故対応用資材の種類と保管量 : **オイルフェンス、オイル吸着剤、土嚢**
- ・環境事故対応訓練実施の有無 : **有** (直近の実施日:令和7年4月30日) ・ 無  
訓練の内容 : **油流出事故の対応訓練**
- ・事業所外への緊急連絡体制の有無 : **有** ・ 無  
※ 有の場合、「緊急連絡体制表」を添付してください。

○ 環境マネジメントシステム取得の有無 (**ISO14001**、エコアクション21等) : **有** ・ 無

- ・認証機関 : **\*\*\*\***
- ・認証取得の時期 : 平成**20**年**4**月**1**日

○ 公害防止(環境保全)協定締結の有無 : **有** ・ 無

- ・公害防止協定の締結先 : **彦根市**
- ・協定締結の時期 : 平成**20**年**4**月**1**日

## 環境保全に資する取組について

○ 貴事業場の環境保全に資する取組について、次の対象があれば記載してください。

- ・ 対象: 化学物質の排出抑制、環境汚染事故の未然防止のための取組みなど

例: ○ 地元地域とのリスクコミュニケーションに関する取組について

- 化学物質の段階的な排出抑制について
- 油類、薬品等の保管方法など、事故の未然防止のための取組について
- 環境汚染事故発生時の被害の拡大防止対策について

### 【地元地域とのリスクコミュニケーション】

- ・ ばい煙、排水水等の検査結果を HP に掲示している。
- ・ 地元自治会の工場見学を案内し工場を公開している。

### 【環境汚染事故の未然防止・発生時の被害の拡大防止対策】

- ・ 工場内の排水経路（工排、雨水）がすぐに識別できるようにしている。
- ・ 水質事故時に土のうを置く場所（水路）に直接印を付けている。
- ・ 工場から主要河川までの流出経路を把握し、事故時の対応箇所を周知している。
- ・ 油事故拡散防止のため、近隣事業場と情報交換・相互応援の約束を交わしている。

- ・ 対象: 地域の環境保全や環境向上のための取組みなど

例: ○ 地元地域を対象とした環境学習などの取組について

- 事業場見学会などの環境啓発への取組について
- 環境保全活動に対する寄付、物的支援および人的支援関与について
- 定期的な清掃活動などの環境美化活動の取組について

### 【環境学習・啓発】

- ・ 地域の環境財産である〇〇の保護についての学習会を行っている。

### 【環境保全活動に対する支援関与】

- ・ 環境保全団体「〇〇」が行っている活動取組に定期的に社員が参加している。

### 【環境美化活動】

- ・ 毎年環境の日等の琵琶湖湖岸清掃に参加している。
- ・ 事業場周辺の県道を対象に、終業時に定期的にエコフォスター活動を行っている。

※ 管内の各事業場における環境保全に関する取組の向上を図るため、事例を取りまとめの上、他の事業場での取組の参考としていただけるよう研修会等で簡単にご紹介させていただく場合があります。